



<講座概要>

「福祉職・対人援助者向けLGBTQeラーニング」は、福祉職・対人援助者がLGBTQについて学ぶためのeラーニング講座です（オンライン・無料）。

自学のためにも、福祉事業所や支援機関の研修でもご活用いただけます。

全60分の講座は、学びたい内容や、研修時間にあわせて臨機応変なカスタマイズしながらご活用いただけるよう、各5～10分程度の9つの章で構成されています。

1. ダイバーシティ、なぜ大事？
2. LGBTQとは
3. LGBTQと国内外の状況
4. 福祉に携わる人たちがLGBTQを考える意義
5. LGBTQの現状と困難
6. ライフストーリー（トランスジェンダー）
7. ケース検討
8. 今日からできること
9. 福祉事業所/支援機関としてできること

なお、講習受講後に修了テストを受けると、修了証が発行されます。

支援機関等に掲示することで、安心して相談できる目印としてご活用いただけます。

2009年の設立以降、LGBTQやダイバーシティに関する研修や、LGBTQの支援を行ってきた、認定NPO法人ReBit（本社：東京都渋谷区、以下ReBit）が制作しました。

なお、本資料は制作にあたり、日本財団から助成をいただき実施しました。

<主な対象>

障害がある方、生活が困窮されている方、高齢の方等にたずさわる、福祉職・対人援助職・ソーシャルワーカー等

<申し込みフォーム>

以下のフォームに必要な情報をご入力の上、送信してください。
ダウンロードページのURLをメールにてお送りさせていただきます。

「福祉職・対人援助者向けLGBTQeラーニング」 無料お申し込みフォーム

お申込者様情報

必須 お名前

必須 メールアドレス

必須 ご所属

必須 ご勤務をされている都道府県

必須 年代

支援者のLGBTQの意識・現状に関するアンケート

※以下アンケートは、個人が特定されない形で統計処理をした上で、公表させていただく可能性があります。
なお、このアンケートへのご回答は任意です。

必須 (1)
対人援助に関連した資格を
もっていたら教えてください。

※複数回答可

- 社会福祉士
 精神保健福祉士
 介護福祉士
 公認心理師
 臨床心理士
 教員・養護教諭
 もっていない
 その他（自由記述）

必須 (2)

- 学んだことはない
 資格取得に関する学校や養成課程
 対人援助職として働き始めてから、業務時間内で学んだ

あなたがLGBTQの支援について、
学んだ機会はありますか？

※複数回答可

- 資格取得に関わらない学校（小中高校大学等）で学んだ
- 専門書やeラーニング等自学
- その他（ご記載ください）

必須 (3)

この10年で、LGBTQの支援に
たずさわりましたか？

【以下から選択してください】

(4)
上記で「LGBTQの支援に
たずさわった」を選んだ場合、
それを振り返りあてはまるものを
教えてください。

※複数回答可

- どう支援していいかわからなかった/迷った
- 十分/適切な情報提供や、連携先・リファーマを紹介できなかった
- 支援をしたが、本人の困りごとが解消されなかった/されたかわからなかった
- 本人の同意なく第三者にセクシュアリティを広めないために、どう配慮したらいいのかわからなかった/迷った
- 本人の同意なく第三者にセクシュアリティが広まった/広めてしまった
- 支援のなかで失礼な言動をしたり、傷つけてしまったように思う
- カミングアウト前を含み、その人がLGBTQでないことを前提とした発言や支援をした（例：彼氏/彼女はいるの？等）
- カミングアウト前を含み、性別を理由に理想的な行動を指示/明示した（例：女性らしくて素敵ですね、男なんだから〇〇しましょう等）
- 他の支援者や上長等がLGBTQに関する十分な知識や理解がなく、機関として適切な支援ができなかった
- 他機関がLGBTQ理解がなく/少なく、適切な連携やリファーマができなかった
- LGBTQの専門性がある機関との連携がなく/少なく、支援方針について相談できなかった
- 十分/適切な支援ができなかったと感じたことはない
- 答えたくない・わからない
- その他（ご記載ください）

(5)
これまで支援のなかで経験した、
他の対人援助者の言動について
教えてください。

※複数回答可

- 対人援助者が、男女欄や「さん・くん」分けなど、不要な男女分けをしていた
- 対人援助者が、LGBTQがないことを前提に支援をしていた（例：当たり前戸籍上の性別でわけていた、パートナーは異性であることを前提としていた等）
- 対人援助者が、LGBTQに関する知識や理解が不足していると感じられる言動があった
- 対人援助者が、LGBTQを笑いのネタにしたり、否定的な言動をしていた
- 対人援助者が、性別を理由に理想的な行動を指示していた（例：もっと女らしくしたほうがいい、男なんだから〇〇しなよ等）
- 対人援助者が、セクシュアリティや、関連することを詮索していた（例：あの人はLGBTQですか？、あの人はパートナーですか？等）
- 対人援助者が、セクシュアリティに関連し、ハラスメントや不当な扱いをしていた
- 対人援助者が、望む性別での取り扱いをしていなかった（例：服装/髪型・名前・トイレ・宿泊など）
- 対人援助者が、同性パートナー等を家族として扱っていなかった
- 対人援助者が、セクシュアリティを本人の同意なく第三者に勝手に広めていた（アウトティング）
- 対人援助者が、カミングアウトをすることを強要したり、制限していた（例：全員にカミングアウトしてください、就活時はカミングアウトしない方がいい

等)

- 対人援助者が、自認する性別で生活することや、治療（例：ホルモン投与や性別適合手術等）を否定したり阻んでいた
- 対人援助者が、セクシュアリティに関する条件を出していた（例：望まない性別のトイレや戸籍名を利用するように伝える、等）
- 上記経験はない
- 答えたくない・わからない
- その他（ご記載ください）

メールマガジンに関する質問

必須 **メールマガジン登録**

ReBitでは、自治体職員さま向けに最新情報等をお届けするメールマガジンをお届けしています。登録を希望されますか？

送信する

※送信エラーになる場合は dcc@rebitlgbt.org までお問い合わせください。

NEWS / EVENT

お知らせ
イベント
メディア掲載情報
ReBit活動報告

ReBitの想い

ReBitが目指すもの
Voice - LGBTの子供たちの声
Dream - 10年後の未来
LGBTに取り組むべき4つの理由
代表あいさつ

プロジェクト

教育事業
教材/調査報告
LGBT成人式
キャリア事業

参加 / ご支援

「にじいろバトン」で継続寄付
自由な額を寄付
法人寄付
寄付金控除について
メルマガ登録

団体概要

団体概要 / 沿革
ご支援企業 / 団体
Voices
取材のご依頼
採用情報

企業様へ

お問い合わせ

特定商取引法に基づく記載
プライバシーポリシー



ありのままを、あたりまえに。

認定NPO法人 ReBit



ありのままを、あたりまえに。

copyright © 2024 ReBit All rights reserved.

4,867

シェアする

ポスト